

中央本部大会 川原書記長発言(要旨)

■組織について

新型コロナウイルスが流行して、早、2年半が経過。直近では感染者数も徐々に増えつつある中、分会においては業務以外で顔をつき合わせる機会が減り、それがスタンダードになってきています。昔と違ってメールやLINEなどの便利なツールが増えましたが、会話と対話がいかに重要かということが再認識された2年半だったと感じます。支部・分会と連携をとりながら、組合員に寄り添う取り組みを引き続き行っていきたいと思っています。

一方、今後多くの出向者が増えることが予想されることから、出向者が属する組織の分会で、全く面識のない人の世話役活動は、これまで以上にかなり難しくなっていきます。組織改正後の立ち上がり際には、地方本部としても何かアクションを起こし、分会が世話役活動をしやすい環境を作っていきたいと思っています。

加えて出向者のフォロー体制がこれまで以上に重要視されます。会社の中に出向者に特化した専門のグループを作り、きめ細やかな対応をしていくために労使で情報共有しながら、本体以外で働く組合員に存在意義を示すべきだと考えます。

■社会変容に対応した働き方について

セルフ化が進み遠隔MVも導入が推進されており、一方で、オペレーターと繋がるのが50分待ちと表示され、お客様をお待たせする事象が各地で発生しました。繁忙期、閑散期の違いはありますが、会社はモバイルICOCAを来年の春に導入しネット販売等に誘導しつつ、お客様に慣れていただくと言っています。いつまでに慣れてもらうのか、それ以前に社員に浸透しているのか、またネット販売に移行する割合をどれくらい想定しているのか数値目標が明示されていない。その中で、要員体制を見直しするには、ある程度シミュレーションしたものがあると考えるが、具体的な数字あるのであれば教えてください。

office365が導入されるなか、グループ会社には、office365を導入しない会社があると聞いています。それぞれ会社事情があるのかもしれませんが、費用対効果や仕事の利便性を考えれば、JRグループ一体となってこの難局を乗り越える時期に、導入していない会社に出向に行った時に違うシス

テムを覚えなければいけないことや、容量の重たいデータはCDに保存したり等、二度手間になる。

仕事の効率性を生み出しスリム化していくのであれば、全グループ会社に導入すべき検討課題であると考えます。

■組織改正について

地方機関の見直しについては、地方でも一定議論を重ねてきた中で、先日でも本部と関係地本との意見交換を行ってきましたが、まだまだ課題が多い部分があります。そのなかでも、新たに変革するタイミングで、異動に対する気持ちの準備や、仕事の引継ぎや覚えなければいけない業務など、多くの関係する社員が不安な気持ちにならないように、ゆとりのもてる少しでも早い内命日にしていただきたいと思っています。

■冬季賞与について

3月に蔓延防止等重点措置が解除になり、今日にいたるまでお客様も徐々に増え始め、GWも含め第1四半期決算では、今年の第3四半期以上の数字が見込まれるのではないかと期待が含まれている中、一方で、足元の感染状況から、県民割にかわる全国旅行支援も見送りになるなど、この夏季輸送もどうなるか不安はありますが、組合員の肌感覚では、コロナ前の状態に戻ってきている感覚もあり、冬季賞与に対する期待は高まっている。多額の負債をかかえて厳しい状況なのは、みんな承知していますが、この2年あまり我慢を強いられ、会社の存続のために尽力してきた組合員に、将来展望が見えないことを理由に離職する社員に歯止めをかけ、希望の見える数字を会社に回答を示すようお願いします。

■政治について

このコロナ禍で、労使では解決できない課題をきちんと国の施策として取り組んでもらい、JR産業を支える上で、政策・政治がいかに大切であるかを再認識することができました。

この参院選については、大阪地本管内に目を向けると、厳しい結果となったが、比例区では川合孝典氏を当選させることができました。引き続き私たちの声をしっかりと国へ届けてくれる議員を送り出すこと、加えて、4月に迎える統一地方選挙では、組織内議員の田尻匠議員の必勝に向け取り組んでいく。



奥畑委員

玉置委員



中山委員

田中委員



安藤委員

山根委員

玉置委員
●遠隔システム、みどりの券売

機プラスについて●駅のキャリ
アスナップについて

●長大編成のワンマン化につい
て●運転適性検査の在り方に

第二小委員会【安全・業務】

●新在来エア手当てを10%に
したい●駅の介助業務につ
いて●勤務単位の職務手当て
について●出向者へのフォロー
について

●組織改正
の検証について

●中山委員

●コロナ禍による呼び出しに
対する手当てについて●大規
模災害の長時間乗務について

●検修社員の手当について
●動物遺骸処理等給付金の
適用範囲拡大について●地上
職の賃金改善について

●安藤委員

●工務の待遇改善による離職
防止について●夜勤手当にあ
るフレックス③を実施されたい

●触車事象につながるヒューマ
ンエラー防止について

ユニオンスクール 「L職コース」開催!!

大阪地方本部は、7月19
日(火)、「リンク大阪」にてユ



真剣な眼差しで取り組む受講生

頼もしき新リーダー集う!

ニオンスクール「L職コース」を
新型コロナウイルス感染症第

7波と言われている中ではあ
るものの、新型コロナウイルス
感染症の感染防止対策とし
て、換気時間を設け、検温テ
ルコール消毒マスクの着用等
を行った。

来賓として、中央本部よ
り、田中教育・情宣・国際部
長、筆野組織・業務部次長に
もご出席いただいた。

今回は、コロナウイルス感
染症の影響で開催出来てい
なかった、平成採用で202
0年2021年L職として、



スクールの進行を務めた
村瀬教育部長



中央本部を代表して挨拶をする
田中教育・情宣・国際部長



筆野執行委員長による
特別講義



(株)FPコンサルティング
塩見太郎氏

を発信してほしいと挨拶が
あった。
その後、筆野執行委員長に
よる特別講義、皆さんに期待
すること、労働組合の役割
について、「そして安倍政治
次長による「政治について」
の講義を受けた。

また今回は、顧問FPによ
るライブランセミナーとし
て、株式会社FPコンサルティング
の塩見太郎氏をお招き
して、「資産運用・老後に向け
た資産設計」と題し講義を
行っていく。今後共、支部
分会からの協力を要請する。
(教育部発)

グループ意見交換会では L職においての悩みなど活発に議論



第34回 定期中央本部大会 機関紙・文化文芸作品コンクール

受賞された支部・分会のみならず、おめでとうございます!
また多くのご応募ありがとうございました。
なお、機関紙コンクールの表彰は、地本大会で表彰を行います。

第29回機関紙コンクール入賞紹介

【支部の部】

～優秀賞～

「Osaka Branch
Monthly News
～これから～」大阪支部

～努力賞～

「天王寺」天王寺支部



文化文芸作品コンクール表彰式

【分会の部】

～努力賞～

「橋電魂」京橋電車区分会
「京橋運輸分会NEWS」京橋運輸分会
「かめやま運転区分会ホットニュース」
かめやま運転区分会

「みちのり」森ノ宮電車区分会

～特別賞～

「あまれ通信」尼崎列車区分会

第23回文化文芸作品コンクール受賞作品

【四コマ漫画の部】応募総数:4点

～最優秀賞～

細田 春菜さん(京橋電車区分会)

「何事もほどほどに」

「臨月」